CoreStation

設置ガイド

バージョン 1.13

日本語
JA 101.00.CS40

suprema
SECURITY & BIOMETRICS

目次

安全のための注意事項 4

遵守事項 4

はじめに 8

同梱物 8

アクセサリー 9

各部の名称と機能 10

インストール 19

製品の固定 19

電源接続 20

ネットワーク接続 21

RS-485 接続 23

リレー接続 24

Wiegand接続 25

ドアセンサーおよび退室ボタンの接続 26

AUX入力の接続 26

エンクロージャの設置 27

ネットワーク設定の初期化 31

工場出荷時の初期化 32

製品仕様 34

一般 34

ストレージ 34

インターフェース 35

電気仕様 35

サイズと重量 37

規制認証情報 39

FCC 準拠情報 39

付録 40

免責事項 40

著作権に関するお知らせ 41

オープンソースライセンス 41

安全のための注意事項

ユーザーの危険や財産上の損害を防ぐため、製品を使用する前に本書を必ずお読みいただき、製品を安全かつ正しくご使用ください。

本書でいう「製品」とは、本体とともに提供されるすべての構成品を含みます。

遵守事項

警告
これは、製品を使用する際に違反すると重傷や死亡に至るおそれがある警告事項を示すときに使用します。

注意
これは、製品を使用する際に違反すると軽傷や製品の損傷が発生するおそれがある注意事項を示すときに使用します。

情報
これは、製品を使用する際の参考事項や追加情報を提供するときに使用します。

ノート

これは、製品を使用する際の参考事項や追加情報を提供するときに使用します。

⚠ 警告

インストール

大容量の電源装置を使用する場合は、配線ミスに十分ご注意ください。

- 配線を誤ると、重大な火災、感電、製品の損傷が発生するおそれがあります。

ユーザーが製品を任意に設置したり修理したりしないでください。

- 火災、感電、けがの原因となります。
- ユーザーによる任意の設置や修理によって製品が損傷した場合、無償修理サービスは提供されません。

製品を直射日光が当たる場所、湿気・ほこり・すすの多い場所、ガス漏れの可能性がある場所に設置しないでください。

- 火災または感電の原因となります。

製品を電気ヒーターなど熱が発生する場所に設置しないでください。

- 過熱による火災または感電の原因となります。

水気のある場所に設置しないでください。

- 湿気による感電または製品損傷の原因となります。

電磁波障害のある場所に設置しないでください。

- 感電または製品損傷の原因となります。

使用

製品内部に水、飲料、薬品などの液体が入らないように注意してください。

- 火災、感電、製品損傷の原因となります。

破損した電源アダプターやプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

- 接続が不安定な場合、火災または感電の原因となります。

電源コードを無理に曲げたり破損させたりしないでください。

- 火災または感電の原因となります。

⚠ 注意

インストール

製品を設置する前に本書を必ずお読みいただき、製品を安全かつ正しく設置してください。

電源ケーブルおよびケーブルを配線する際は、必ず接続するすべての装置の電源を切った状態で配線・接続してください。

- 装置が誤作動を起こすおそれがあります。

製品に電源を接続する前に、もう一度マニュアルを確認して配線が正しいことを確認してから電源を接続してください。

製品を直射日光や紫外線が直接当たる場所に設置しないでください。

- 製品の損傷、誤作動、変色、変形の原因となります。

電源ケーブルなどを通行場所に放置しないでください。

- 身体障害または製品損傷の原因となります。

磁石、テレビ、（CRT）モニター、スピーカーなど磁力の強い物体の近くに設置しないでください。

- 故障の原因になります。

電源アダプターは IEC/EN 62368-1 の認証を取得し、端末の消費電力以上に対応する製品を使用してください。 Suprema で販売している電源アダプターの使用を推奨します。

- 適切な電源を使用しない場合、装置が誤作動するおそれがあります。
- 最大消費電流の規格は製品仕様の電源を参照してください。

使用

製品を落下させたり衝撃を与えたりしないでください。

- 故障の原因になります。

製品のファームウェアアップグレード中に電源供給が中断されないよう注意してください。

- 故障の原因になります。

製品のボタン（タッチパッド）を無理に押したり、鋭利な工具で押したりしないでください。

- 故障の原因になります。

製品は 0 °C ~ 50 °C の範囲内で使用し、極端に低温または高温で保管しないでください。

- 故障の原因になります。

製品を清掃する際はご注意ください。

- 製品の表面を清潔な乾いた布でやさしく拭いてください。
- 製品を消毒する場合は、乾いた布に消毒用アルコールを適量含ませ、製品表面をやさしく拭いてください。イソプロピルアルコールを70～75%含む消毒用アルコールと、清潔で糸くずの出ない柔らかい布を使用してください。
- 消毒剤を製品に直接噴霧しないでください。

製品を本来の目的以外で使用しないでください。

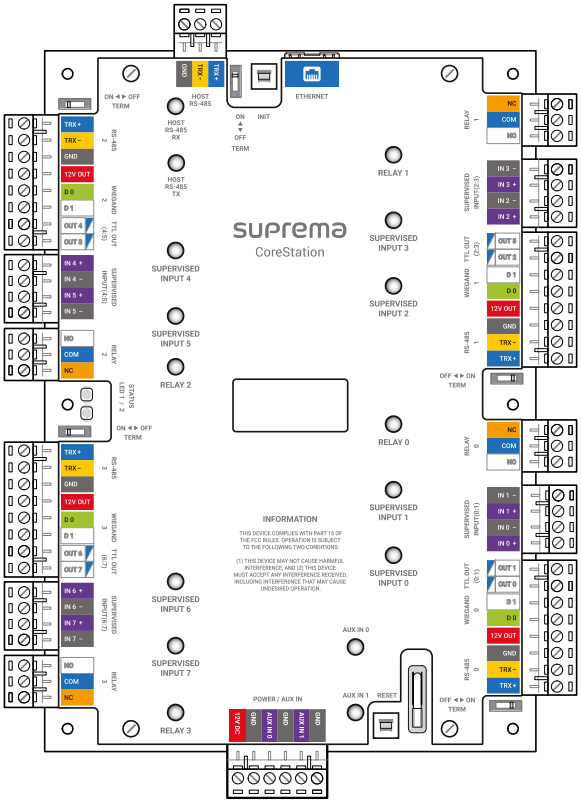
- 故障の原因になります。

> **RTC バッテリー**
>
> 承認されていない、または不適切な種類のバッテリーに交換すると爆発の危険があります。バッテリーは居住地域または国際的な廃棄規定に従って廃棄してください。

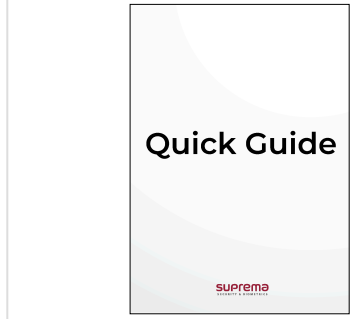
はじめに

デバイスを使用するための初期手順を案内します。

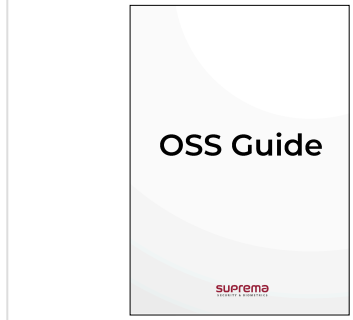
同梱物



CoreStation



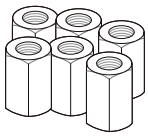
クイックガイド



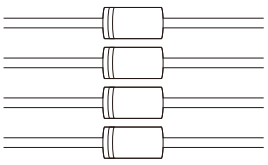
オープンソースライセンスガイド



固定用ネジ ×12



スペーサー ×6



ダイオード×4

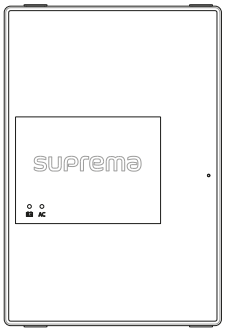
情報

- 同梱品は設置環境によって異なる場合があります。

アクセサリー

この製品ではアクセサリとして筐体（ENCR-10）を併せて購入できます。

エンクロージャには、電源状態LEDボード、電源分配ボード、電源供給装置、タンパースイッチが含まれています。製品を筐体に設置する方法は筐体の設置を参照してください。

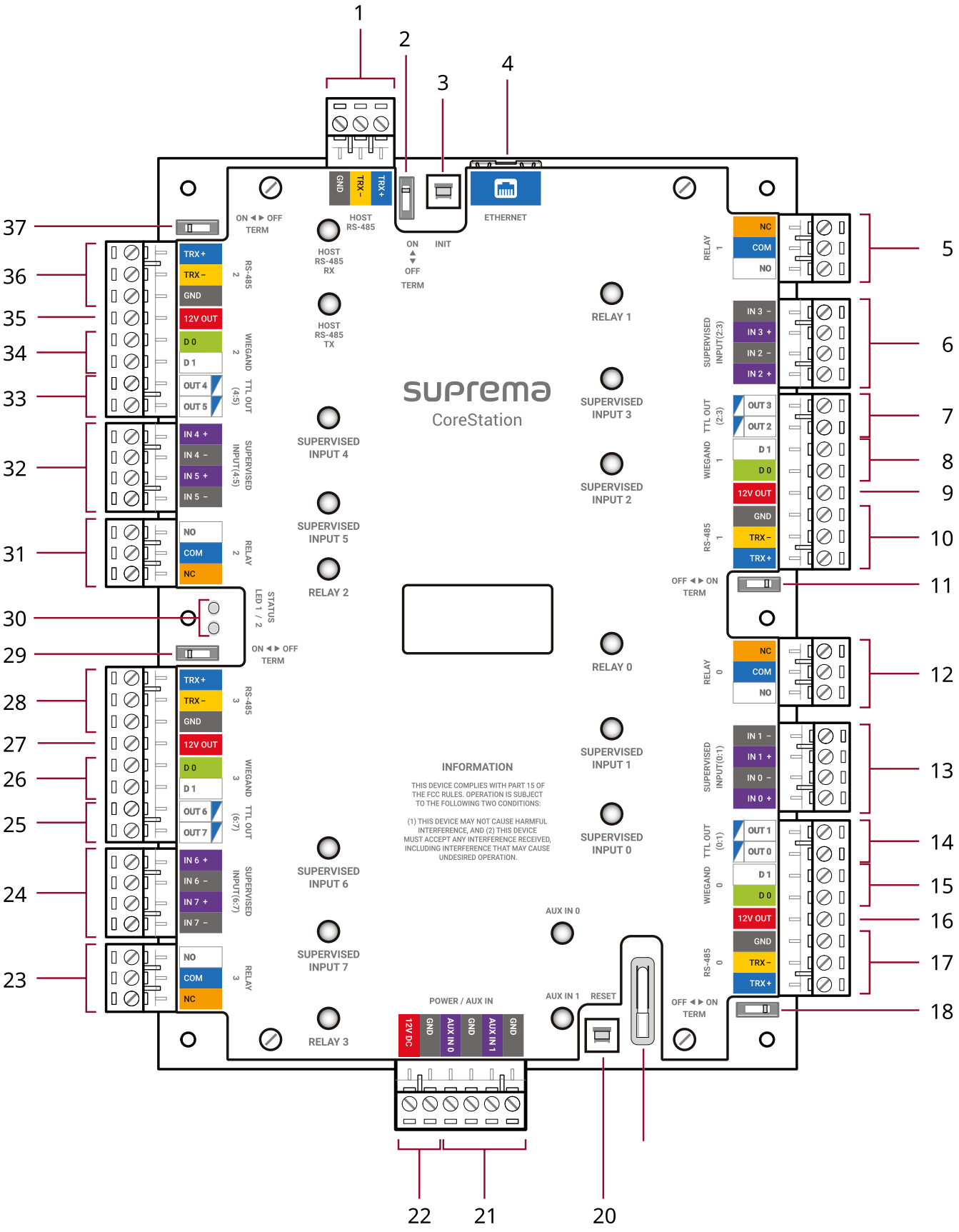


ENCR-10

情報

- ENCR-10 は壁面に固定して使用できるよう設計されています。設置高さに制限はありません。安全で使いやすい位置に設置してください。
- ENCR-10 には、筐体固定用ねじ、製品固定用ねじ、電源装置接続用ねじが含まれています。各ねじを用途に応じて正しく使用してください。
  - 筐体固定用ねじ（直径：4 mm、長さ：25 mm）×4
  - 製品固定用ねじ（直径：3 mm、長さ：5 mm）×6
  - 電源装置ケーブル固定用ねじ（直径：3 mm、長さ：8 mm）×1

各部の名称と機能


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
GND
TRX−
TRX+
HOST RS-485
ON ◄► OFF TERM
HOST RS-485 RX
HOST RS-485 TX
ON OFF TERM
INIT
ETHERNET
suprema
CoreStation
RELAY 1
SUPERVISED INPUT 3
SUPERVISED INPUT 2
SUPERVISED INPUT 4
SUPERVISED INPUT 5
RELAY 2
RELAY 0
SUPERVISED INPUT 1
SUPERVISED INPUT 0
SUPERVISED INPUT 6
SUPERVISED INPUT 7
RELAY 3
AUX IN 0
AUX IN 1
RESET
POWER / AUX IN
12V DC
GND
AUX IN 0
GND
AUX IN 1
GND
STATUS LED 1 / 2
INFORMATION
THIS DEVICE COMPLIES WITH PART 15 OF THE FCC RULES. OPERATION IS SUBJECT TO THE FOLLOWING TWO CONDITIONS:
(1) THIS DEVICE MAY NOT CAUSE HARMFUL INTERFERENCE, AND (2) THIS DEVICE MUST ACCEPT ANY INTERFERENCE RECEIVED, INCLUDING INTERFERENCE THAT MAY CAUSE UNDESIRED OPERATION.
RELAY 1
NC
COM
NO
SUPERVISED INPUT(2:3)
IN 3 −
IN 3 +
IN 2 −
IN 2 +
TTL OUT (2:3)
OUT 3
OUT 2
WIEGAND 1
D 1
D 0
12V OUT
RS-485 1
GND
TRX−
TRX+
OFF ◄► ON TERM
RELAY 0
SUPERVISED INPUT(0:1)
IN 1 −
IN 1 +
IN 0 −
IN 0 +
TTL OUT (0:1)
OUT 1
OUT 0
WIEGAND 0
D 1
D 0
12V OUT
RS-485 0
GND
TRX−
TRX+
OFF ◄► ON TERM
RS-485 2
TRX+
TRX−
GND
12V OUT
WIEGAND 2
D 0
D 1
TTL OUT (4:5)
OUT 4
OUT 5
SUPERVISED INPUT(4:5)
IN 4 +
IN 4 −
IN 5 +
IN 5 −
RELAY 2
NO
COM
NC
ON ◄► OFF TERM
RS-485 3
TRX+
TRX−
GND
12V OUT
WIEGAND 3
D 0
D 1
TTL OUT (6:7)
OUT 6
OUT 7
SUPERVISED INPUT(6:7)
IN 6 +
IN 6 −
IN 7 +
IN 7 −
RELAY 3
NO
COM
NC

No.	名前	No.	名前
1	**HOST RS-485** 接続	20	**RESET** ボタン
2	**HOST RS-485** 終端抵抗スイッチ	21	**AUX IN (0, 1)** 接続
3	**INIT** ボタン	22	CoreStation 電源接続（DC 12V IN）
4	**ETHERNET** 接続	23	**RELAY 3** 接続
5	**RELAY 1** 接続	24	**SUPERVISED INPUT (6:7)** または **Input (6:7)** 接続
6	**SUPERVISED INPUT (2:3)** または **Input (2:3)** 接続	25	**OUTPUT (6:7)** 接続
7	**OUTPUT (2:3)** 接続	26	**WIEGAND 3** 接続
8	**WIEGAND 1** 接続	27	12VDC 出力
9	12VDC 出力	28	**RS-485 3** 接続
10	**RS-485 1** 接続	29	**RS-485 3** 終端抵抗スイッチ
11	**RS-485 1** 終端抵抗スイッチ	30	CoreStation ステータスLED
12	**RELAY 0** 接続	31	**RELAY 2** 接続
13	**SUPERVISED INPUT (0:1)** または **Input (0:1)** 接続	32	**SUPERVISED INPUT (4:5)** または **Input (4:5)** 接続
14	**OUTPUT (0:1)** 接続	33	**OUTPUT (4:5)** 接続
15	**WIEGAND 0** 接続	34	**WIEGAND 2** 接続
16	12VDC 出力	35	12VDC 出力
17	**RS-485 0** 接続	36	**RS-485 2** 接続
18	**RS-485 0** 終端抵抗スイッチ	37	**RS-485 2** 終端抵抗スイッチ
19	RTC バッテリー		

情報

- **RESET** ボタンを押して、製品を再起動します。
- ネットワーク設定を初期化するか、デバイスに保存済みの情報と証明書をすべて削除するには、**INIT** ボタンを押してください。詳細についてはネットワーク設定の初期化または工場出荷時の初期化を参照してください。
- 製品とWiegandデバイスを接続する際、Wiegandデバイスの電源として製品の電源出力（12V、最大1.5A）を使用できます。 200 mAを消費するWiegandデバイスを3台接続すると、残りの電源出力端子には最大900 mAを消費するデバイスを接続できます。
- RTCバッテリーの容量は226 mAhで、期待寿命は設置環境と動作方法によって異なる場合があります。 RTCバッテリーを交換する際はCR2032を使用してください。

通信状態LED

LED	状態
HOST RS-485 TX	オレンジ点滅：RS-485データ送信中
HOST RS-485 RX	緑点滅：RS-485データ受信中
RELAY (0 ~ 3)	赤点灯：リレー動作
SUPERVISED INPUT (0 ~ 7)	Input を使用する場合 - 緑点灯：Normal Close - 消灯：Normal Open
	スーパーバイズド入力を使用する場合 - 緑点灯：Normal Close（短絡）、Normal Open、スイッチオン - 消灯：スイッチオフ
AUX IN (0, 1)	オレンジ点灯：AUX信号受信中

アクセス制御グレード

機能	階級
Destructive Attack	Ⅰ
Line Security	Ⅰ
Endurance	Ⅳ
Standby Power	Ⅰ
Single Point Locking Device with Key Locks	Ⅰ

CoreStation ステータスLED

製品の状態は前面左側にある STATUS LED 1/2 で確認でき、イーサネット、RS-485 0、RS-485 1、RS-485 2、RS-485 3、RS-485 HOST、システムの状態を 1 秒ずつ順番に表示します。

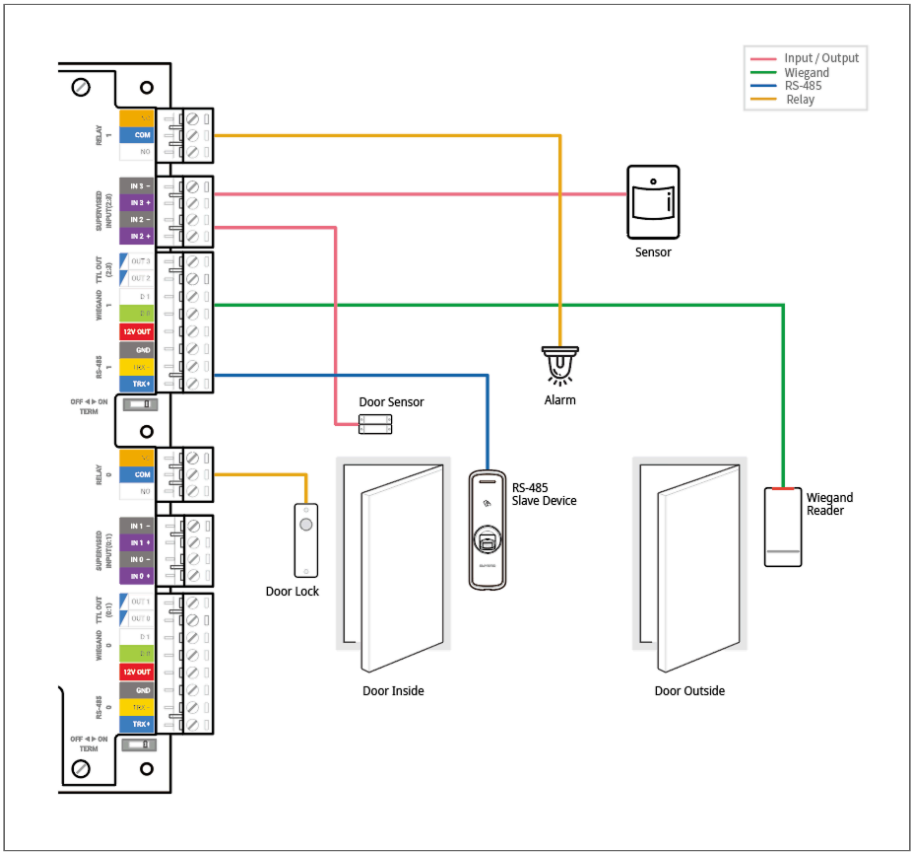
項目	LED 1	LED 2	状態
イーサネット	赤	赤	ダイナミックIP接続失敗
	赤	黄	ダイナミックIP接続待機中
	赤	水色	固定IP接続成功
	赤	青	動的IP接続成功
	赤	オフ	固定IP接続失敗
	赤	オフ	HWエラー
RS-485 0	黄	赤	スレーブ装置なし
	黄	黄	スレーブ装置切断
	黄	青	スレーブ装置正常
	黄	オフ	HWエラー
RS-485 1	緑	赤	スレーブ装置なし
	緑	黄	スレーブ装置切断
	緑	青	スレーブ装置正常
	緑	オフ	HWエラー
RS-485 2	水色	赤	スレーブ装置なし
	水色	黄	スレーブ装置切断
	水色	青	スレーブ装置正常
	水色	オフ	HWエラー
RS-485 3	青	赤	スレーブ装置なし
	青	黄	スレーブ装置切断

項目	LED 1	LED 2	状態
	青	青	スレーブ装置正常
	青	オフ	HWエラー
RS-485 HOST	オフ	赤	スレーブ装置なし
	オフ	黄	スレーブ装置切断
	オフ	青	スレーブ装置正常
	オフ	オフ	HWエラー
システム	白	赤	システムロック（装置の作業条件と動作）
	白	黄	システムロック（BioStar Xの作業条件と動作）
	白	緑	BioStar X接続成功
	白	水色	BioStar X接続成功 + タンパーオン
	白	青	タンパーオン
	白	オフ	システムロック（装置の作業条件と動作）+ タンパーオン
	白	白	システムロック（BioStar Xの作業条件と動作）+ タンパーオン
	オフ	オフ	データベース移行動作中

設置例

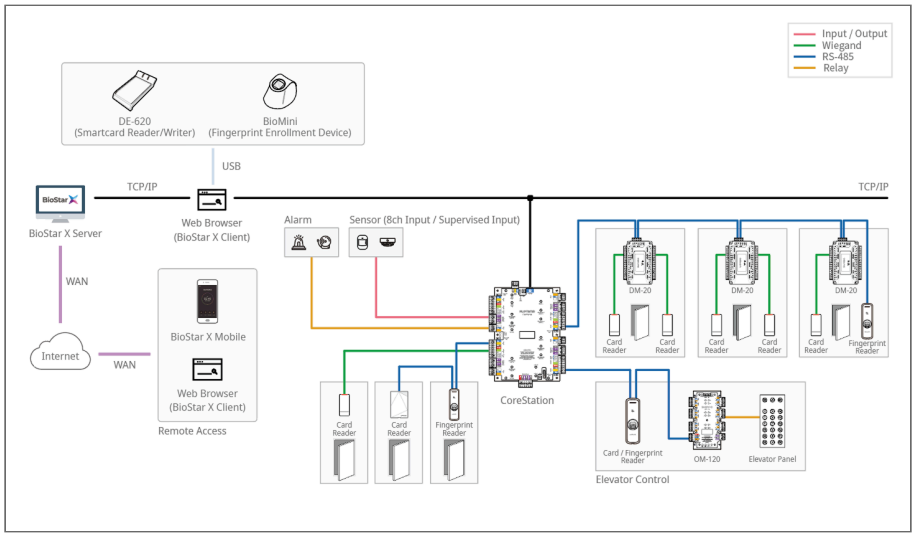
本製品はバイオメトリック認証を実行できる集中型入退室管理システムです。エンタープライズ向けに設計された本製品は最大 500,000 人のユーザー情報を保存でき、毎秒 400,000 件の指紋マッチングを実行できます。

BioStar X と連携し、入退室管理と勤怠管理の両方を利用でき、RS-485(OSDP)、Wiegand、スーパーバイズド入力、AUX など多様なインターフェースを提供します。



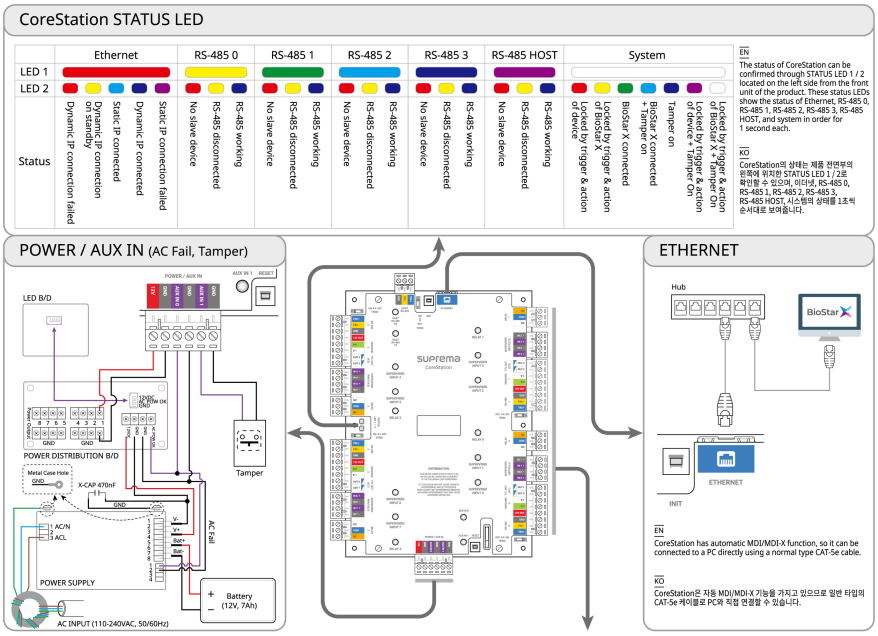
システム構成図

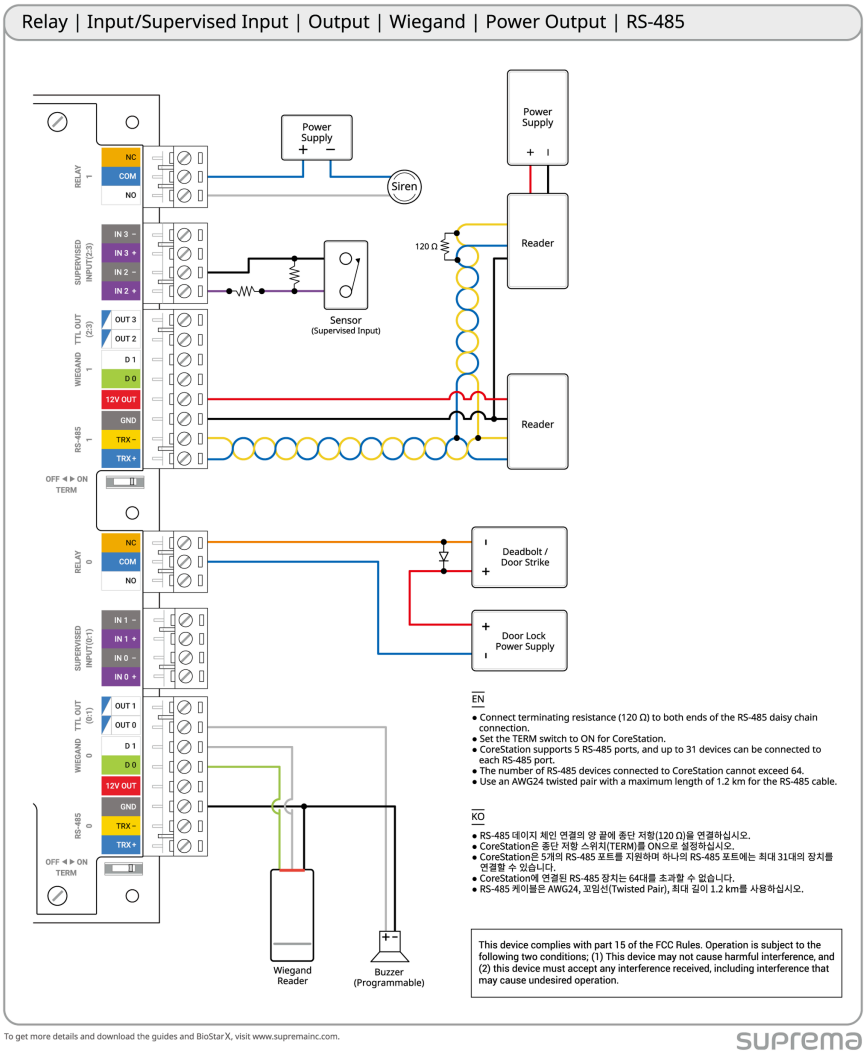
本製品はRS-485デバイスを最大64台まで接続でき、Door Moduleをデイジーチェーン接続することでWiegandデバイスを132台まで拡張できます。



全体接続構成図

安定的に製品を使用するため、専用エンクロージャの使用を推奨します。エンクロージャには LED 制御ボード、電源制御ボード、電源装置、バッテリー、タンパーが含まれています。





情報

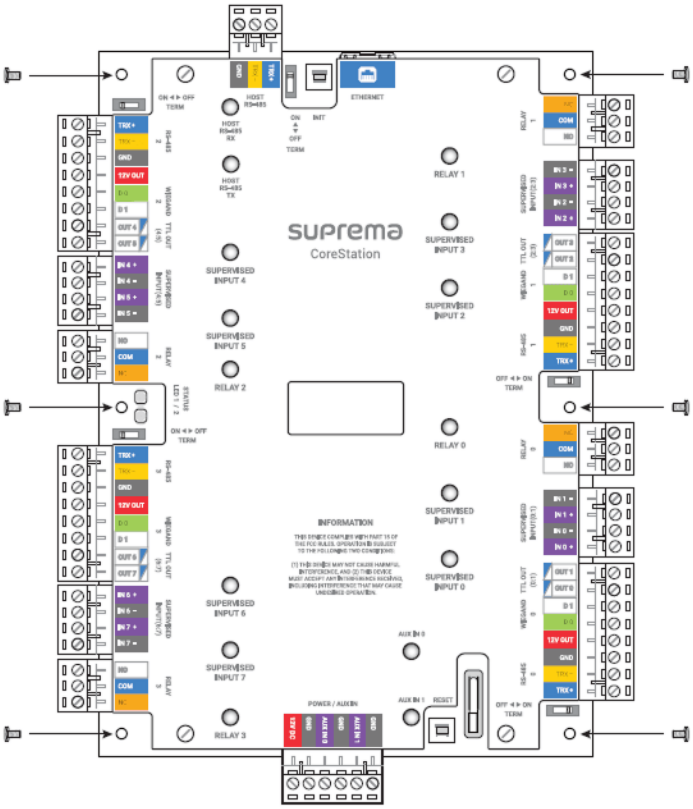
Aスイッチで制御されるソケットには接続しないでください。

インストール

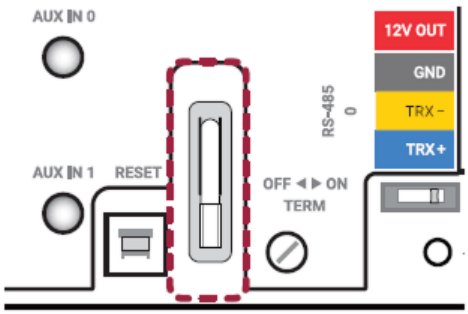
インストールに必要な全手順と接続例を提供します。

製品の固定

1. 製品を取り付ける位置にスペーサーを固定用ネジで固定します。
2. 固定したスペーサーの上に製品を置き、固定用ネジでしっかり固定します。



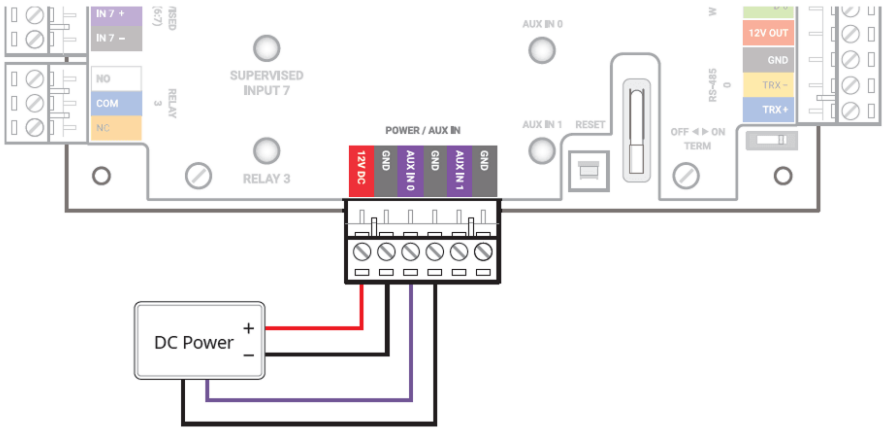
3. RTCバッテリーに付着している放電防止フィルムを取り外してください。



情報

- RTC (Real Time Clock) バッテリーは、製品の電源が切れていても正確な時刻を維持するために使用されます。
- RTCバッテリーの容量は226 mAhで、期待寿命は設置環境と動作方法によって異なる場合があります。 RTCバッテリーを交換する際はCR2032を使用してください。

電源接続



注意

- 出入管理装置と製品に接続する電源は必ず分けて使用してください。
- 電源アダプターはIEC/EN 62368-1の認証を受け、端末の消費電力を上回る容量のものを使用してください。電源アダプターに他の機器も接続する場合は、端末の消費電力と他機器の消費電力を合算した電流容量以上のアダプターを使用する必要があります。
  - 最大消費電流の規格は製品仕様の電源を参照してください。
- 電源アダプターを使用する場合、電源ケーブルの長さを任意に延長しないでください。

情報

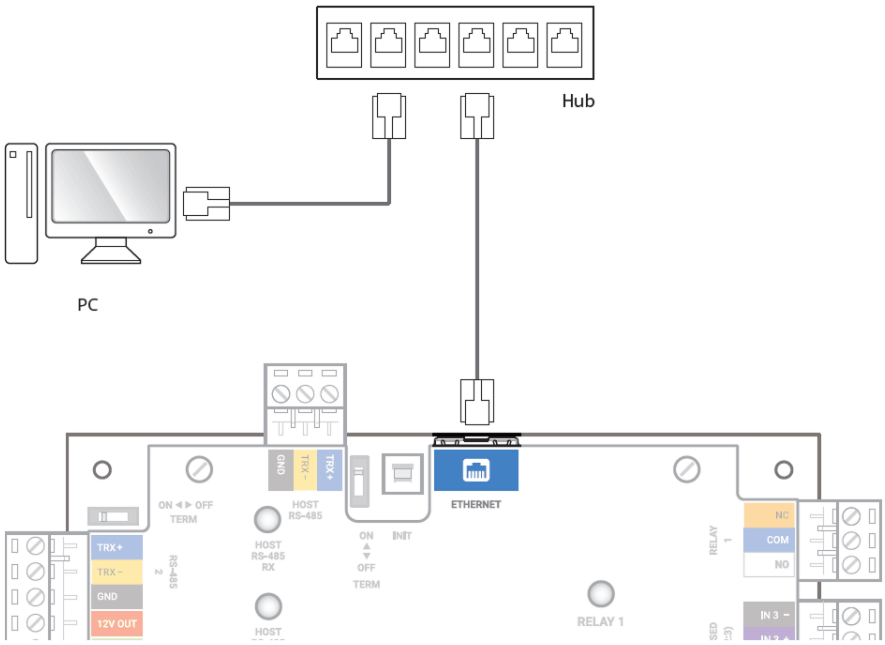
電源障害を防ぐため、無停電電源装置（UPS）を接続して使用することを推奨します。

ネットワーク接続

TCP/IP

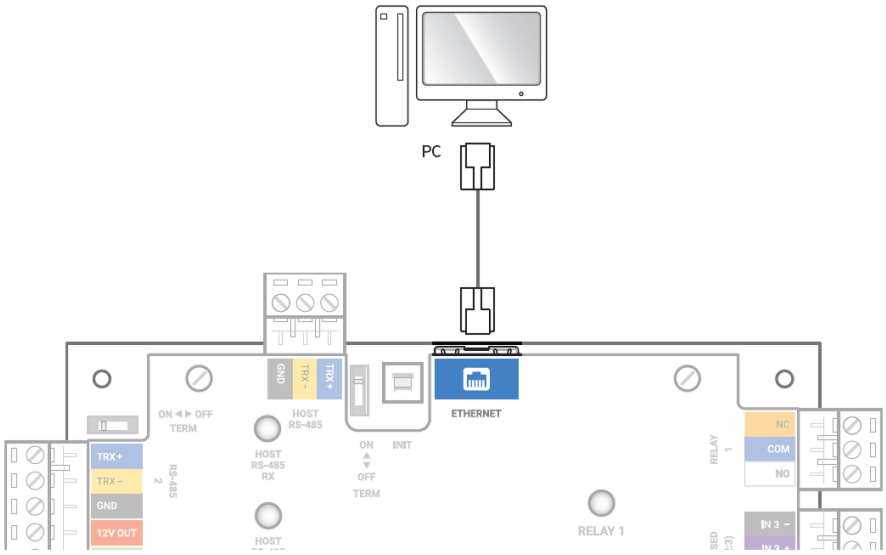
LAN接続（ハブとの接続）

標準タイプの CAT-5 以上のケーブルを使用してハブに接続できます。



LAN接続（PC と直接接続）

本製品はオート MDI/MDIX 機能をサポートしているため、標準タイプの CAT-5e ケーブルで PC に直接接続できます。



ネットワークポートおよびサービス

本製品はネットワーク通信および円滑なサービス運用のため、以下のポートを使用します。

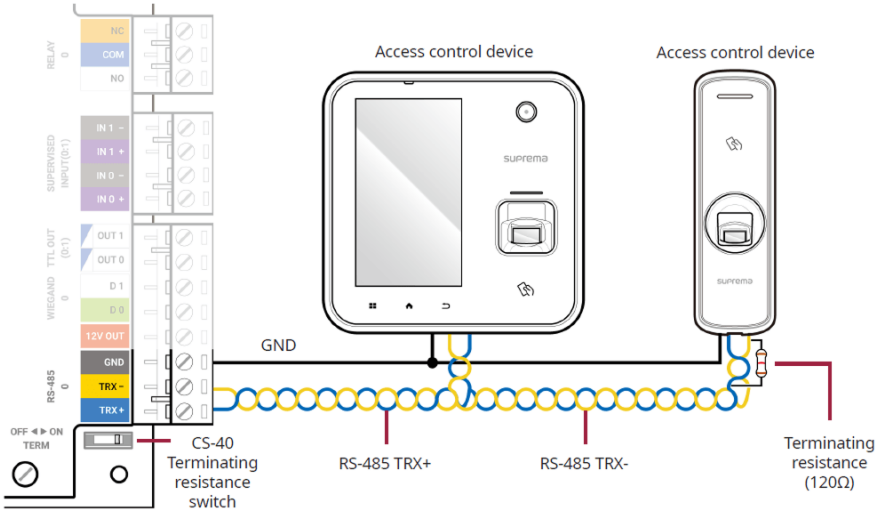
プロトコル	サービス
TCP	サーバーとデバイス間の通信サービスおよびデバイスの運用状態切り替えサービスに使用されます。
UDP	ネットワーク上のデバイス検索サービスに使用されます。

情報

上記のポートは製品が正常にネットワーク機能を提供するために使用されます。ファイアウォールやネットワークセキュリティ設定の際には、これらのポートの使用許可が必要です。

RS-485 接続

本製品は5つのRS-485ポートをサポートしており、1つのRS-485ポートには最大31台の装置を接続できます。



情報

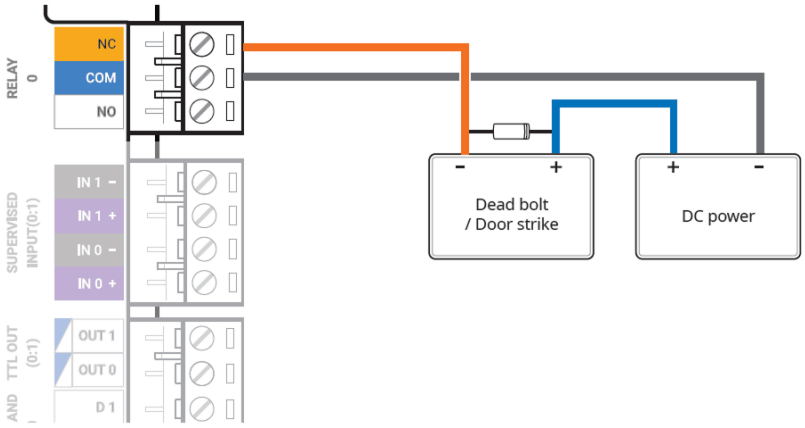
- 製品に接続できるRS-485装置は合計64台を超えることはできません。
- RS-485 ケーブルは AWG26 以上を使用し、すべての配線は ANSI/NFPA 70 規格に準拠する必要があります。
- RS-485 ケーブルには AWG24 のツイストペアケーブルを使用し、最大長は 1.2 km としてください。
- RS-485 ケーブルには特性インピーダンス 120 Ω のケーブルを使用することを推奨します。
- RS-485デイジーチェーン接続の両端に終端抵抗（120 Ω）を接続します。中間ラインに接続すると信号レベルが低下して通信性能が落ちるため、必ずデイジーチェーンの両端に接続してください。本製品の終端抵抗スイッチをONに設定します。

リレー接続

Fail Safe Lock

Fail Safe Lock を使用する場合は、下図のように NC リレーを接続してください。 Fail Safe Lock は通常、リレー回路に電流が流れており、リレーが動作して電流を一時的に遮断するとドアが開きます。停電や外部要因で装置の電源が切れた場合、ドアが開きます。

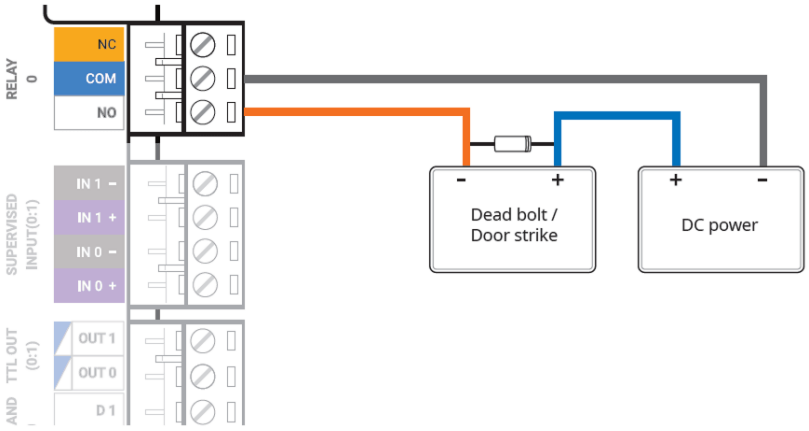
> **情報**
> デッドボルトまたはドアストライクを設置する際は、下図のようにダイオードを電源入力の両端に接続してください。ダイオードの向きに注意し、必ずカソード（ストライプ側）を電源の＋側に接続してください。



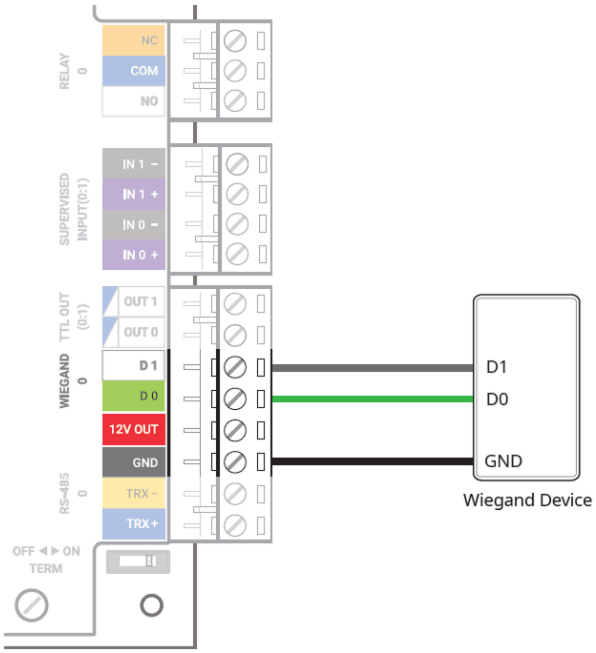
Fail Secure Lock

Fail Secure Lock を使用する場合は、下図のように NO リレーを接続してください。 Fail Secure Lock は通常、リレー回路に電流が流れず、リレーが動作して電流が流れるとドアが開きます。停電や外部要因で装置の電源が切れた場合、ドアが施錠されます。

> **情報**
> デッドボルトまたはドアストライクを設置する際は、下図のようにダイオードを電源入力の両端に接続してください。ダイオードの向きに注意し、必ずカソード（ストライプ側）を電源の＋側に接続してください。

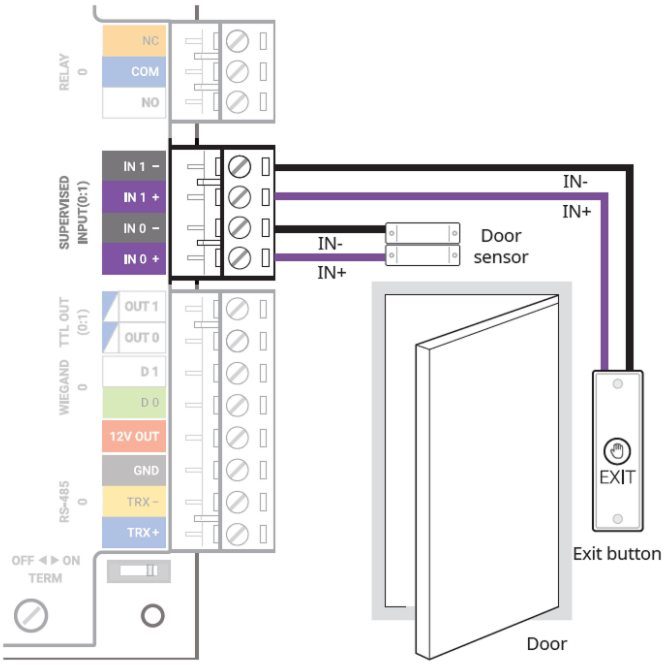


Wiegand接続



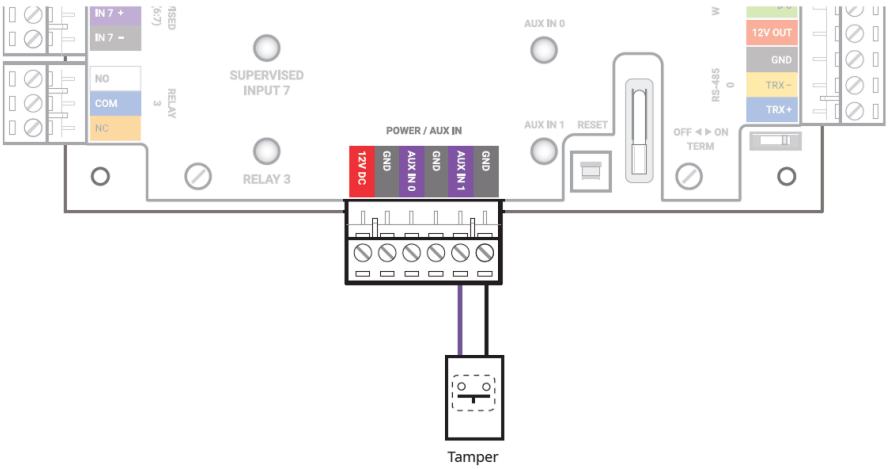
ドアセンサーおよび退室ボタンの接続

SUPERVISED INPUT 0～7端子は、一般的な入力として使用するか、スーパーバイズド入力として使用するように設定できます。



AUX入力の接続

AUX IN端子に電源障害検出器またはタンパーを接続できます。

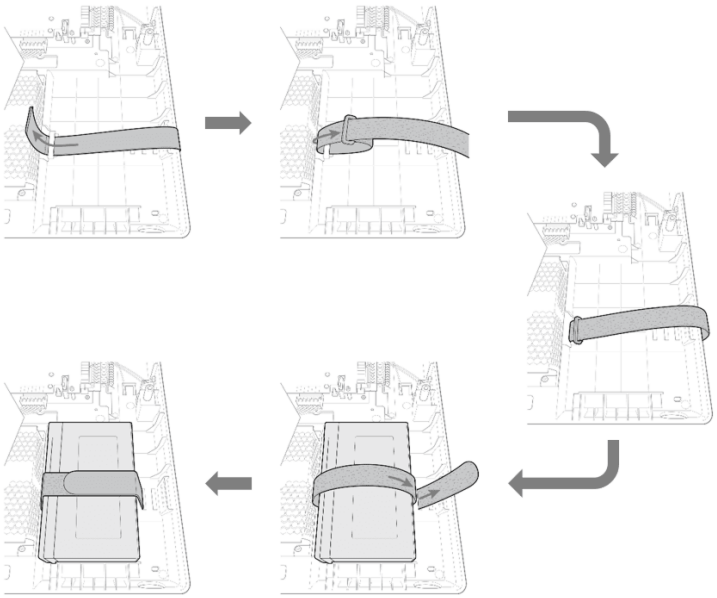


エンクロージャの設置

物理的および電気的保護のため、本製品をエンクロージャ（ENCR-10）内に設置できます。エンクロージャには、電源状態LEDボード、電源分配ボード、電源供給装置、タンパースイッチが含まれています。エンクロージャは別売りです。

バックアップバッテリーを固定する

バッテリーのベルクロストラップを筐体に差し込み、バッテリーを固定します。

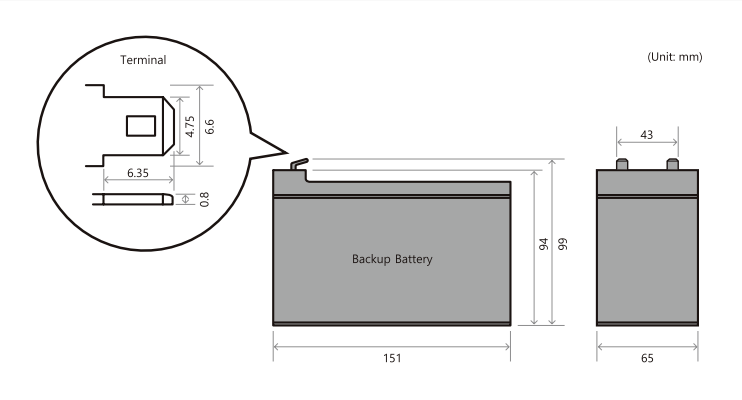


注意

バックアップバッテリーは 12 VDC 仕様で 7 Ah 以上のものを使用してください。本製品は ROCKET 社の 「ES7-12」でテストされており、ES7-12 と同等の製品の使用を推奨します。

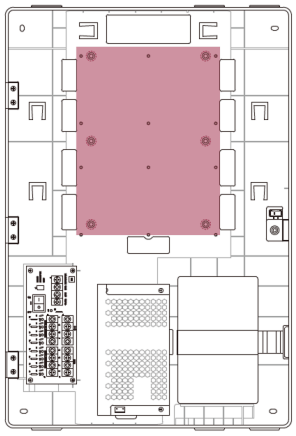
情報

- バックアップバッテリーは別売りです。
- バックアップバッテリーのサイズと端子の形状およびサイズを必ず確認します。バックアップバッテリーのサイズが推奨仕様より大きい場合、筐体に取り付けられない、または取り付け後に筐体を閉じられないことがあります。また、端子の形状やサイズが異なる場合は、付属のケーブルでバッテリーを接続できません。

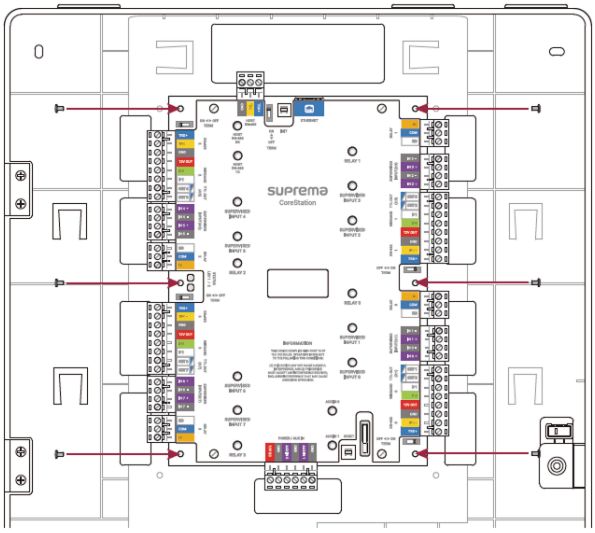


製品の固定

1. エンクロージャ内で製品を取り付ける位置を確認してください。



2. 取り付け位置に合わせて製品をエンクロージャに載せ、固定用ネジで固定してください。



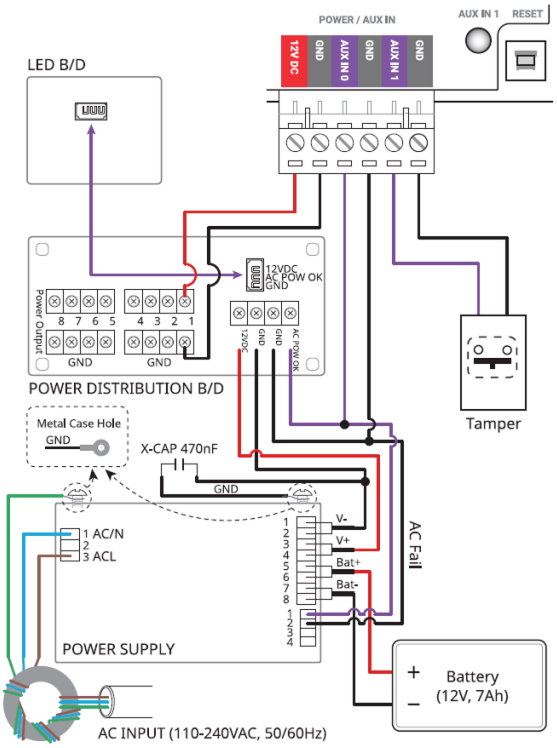
情報

- ENCR-10 は壁面に固定して使用できるよう設計されています。設置高さに制限はありません。安全で使いやすい位置に設置してください。
- ENCR-10 には、筐体固定用ねじ、製品固定用ねじ、電源装置接続用ねじが含まれています。各ねじを用途に応じて正しく使用してください。
  - 筐体固定用ねじ（直径：4 mm、長さ：25 mm）×4
  - 製品固定用ねじ（直径：3 mm、長さ：5 mm）×6
  - 電源装置ケーブル固定用ねじ（直径：3 mm、長さ：8 mm）×1

電源およびAUX入力、タンパー接続

電源障害を防ぐために、無停電電源装置（UPS）を接続して使用できます。また、停電検出器や他の機器の接点出力を AUX IN 端子に接続できます。

また、タンパーに接続すると、外部要因で筐体が開いた場合にアラームを鳴らしたり、イベントログを残したりできます。



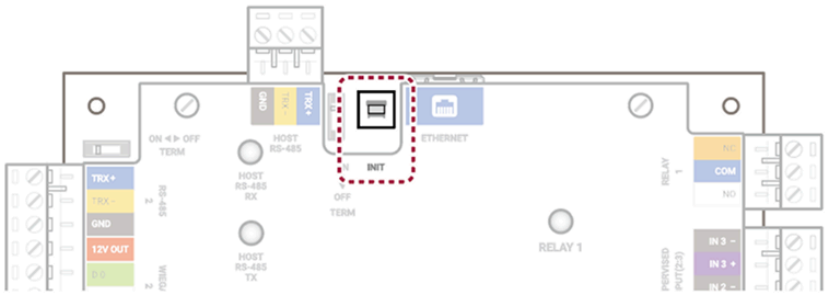
注意

- 出入管理装置と製品に接続する電源は必ず分けて使用してください。
- 電源アダプターはIEC/EN 62368-1の認証を受け、端末の消費電力を上回る容量のものを使用してください。電源アダプターに他の機器も接続する場合は、端末の消費電力と他機器の消費電力を合算した電流容量以上のアダプターを使用する必要があります。
  - 最大消費電流の規格は製品仕様の電源を参照してください。
- 電源アダプターを使用する場合、電源ケーブルの長さを任意に延長しないでください。
- バックアップバッテリーは 12 VDC 仕様で 7 Ah 以上のものを使用してください。本製品は ROCKET 社の「ES7-12」でテストされており、ES7-12 と同等の製品の使用を推奨します。

ネットワーク設定の初期化

装置のネットワーク設定を初期化します。

1. 装置に電源を接続してください。
2. **INIT** ボタンを3秒以上長押ししてください。



3. ネットワーク設定を次のとおり初期化します。初期化されたネットワーク情報を参照して、BioStar X で装置を接続してください。
   - **TCP/IPアドレス**：DHCP を使用するよう設定しているため、IP アドレスを自動的に割り当てます。

     > **情報**
     > DHCP でのアドレス割り当てに失敗すると、169.254.x.x に設定します。

   - **サーバーモード**：装置がサーバーへ直接接続を要求しないよう設定します。
   - **RS-485**：通信速度を 115200 bps に設定します。

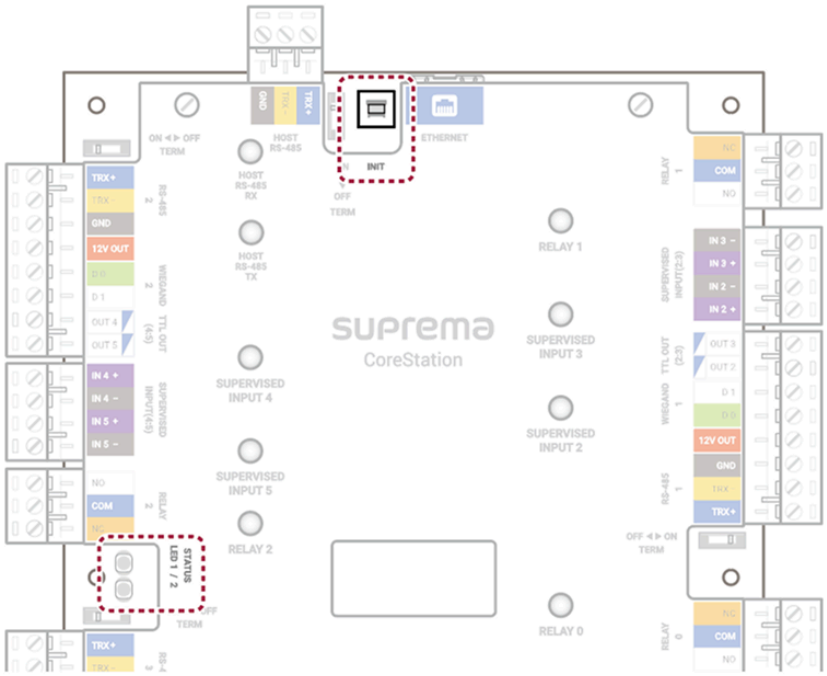
工場出荷時の初期化

デバイスに保存されているすべての情報とルート証明書を削除し、設定を初期化します。

> **情報**
>
> - デバイスにルート証明書が保存されていない場合、工場初期化を実行できません。
> - 製品の初期化方法の詳細については Suprema グローバル技術サポートチームにお問い合わせください。

デバイスで初期化する

1. 装置に電源を接続してください。
2. **INIT** ボタンをすばやく三回押してください。



3. デバイスの **STATUS LED** が黄色に点滅したら、**INIT** ボタンを長押ししてください。

CoreStation Setup Manager で初期化する

1. イーサネットケーブルで製品を PC に接続してください。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄に `https://169.254.0.1:3001` を入力し、CoreStation Setup Manager にアクセスしてください。

   > **情報**
   > Chrome 75 以降の Web ブラウザを使用します。

3. **CONFIGURE** をクリックします。
4. **Information** 項目で **Factory Default** をクリックしてください。

> **情報**
>
> - CoreStation Setup Manager に接続して製品のネットワーク設定を管理し、スレーブデバイスや入出力ポート、Wiegand ポートの接続状態を確認します。
> - CoreStation Setup Manager は、製品のファームウェア バージョン 1.3.1 以上でサポートされます。ファームウェア バージョン 1.3.1 未満を使用している場合は、BioStar X に接続してファームウェアを最新バージョンにアップグレードします。
> - CoreStation Setup Manager の詳細については、CoreStation Setup Manager をご覧ください。
> - BioStar X の最新バージョンは、製品がネットワークに接続され、リセットが可能な状態で確認できます。

製品仕様

製品のサイズ、機能、性能などの主要な仕様情報を提供します。

一般

モデル名	**CS-40**	
CPU	**1.4 GHz 8 コア**	
メモリ	**8 GB Flash + 1 GB RAM**	
暗号チップ	**対応**	
LED	**マルチカラー**	• **STATUS: 2ea** • **HOST RS-485 TX: 1ea** • **HOST RS-485 RX: 1ea** • **SUPERVISED INPUT: 8ea** • **RELAY: 4ea** • **AUX IN: 2ea**
動作温度	**0 °C ~ 50 °C**	
保管温度	**-40 °C ~ 70 °C**	
動作湿度	**0 % ~ 80 %（結露なきこと）**	
保管湿度	**0 % ~ 95 %（結露なきこと）**	
動作環境条件	**0 °C ~ 49 °C**	
認証	**CE、UKCA、KC、FCC、RCM、RoHS、REACH、WEEE**	

ストレージ

最大ユーザー数	**500,000**[1)]

最大クレデンシャル数（1:N）	**顔：4,000**[2)]
最大クレデンシャル数（1:1）	• **顔：30,000**[2)] • **カード：500,000** • **PIN：500,000**
最大テキストログ数	**5,000,000**

インターフェース

イーサネット	**サポート対象（10/100 Mbps、自動 MDI/MDI-X）**
ネットワークプロトコル	**TCP、UDP**
RS-485	**5 チャンネル**
RS-485通信プロトコル	**OSDP V2 準拠**
Wiegand	**4 チャンネル**
リレー	**4 リレー**
入力	**8 チャンネル**[3)]
出力	**8 チャンネル**
スーパーバイズド入力	**8 チャンネル**[3)]
AUX入力	**2 チャンネル（AC 電源の停電、タンパー）**

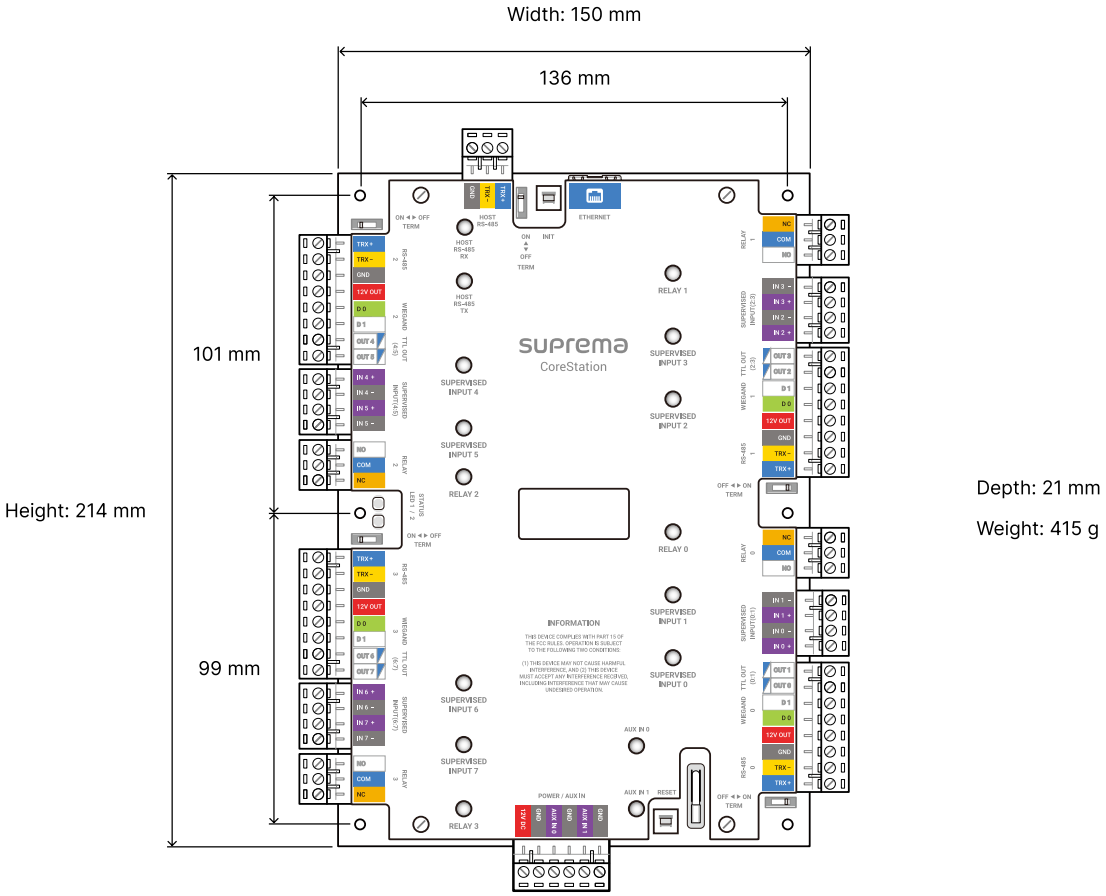
電気仕様

電源	**CoreStation**	**電圧：12 Vdc / 電流：最大 3 A**
	電源装置（SMPS）AC入力 110 ~ 240 VAC、50/60 Hz	

電源出力	**12 Vdc**	**電流：最大 1.5 A**
スイッチ入力 VIH	• **最小：3 V** • **最大：5 V**	
スイッチ入力 VIL	**最大：1 V**	
リレー	**5 A @ 30 VDC 抵抗負荷**	

サイズと重量

寸法公差は ±0.3 mm です。



1) クレデンシャルなしで登録されたユーザーを基準としています。

2) 顔認証デバイスは FaceStation 2 と FaceLite のみ対応しています。

3) Input またはスーパーバイズド入力のいずれかを選択して使用できます。

情報

- 製品仕様は性能向上のため予告なく変更されることがあります。
- 本製品をマスター装置として使用する場合、指紋センサーを搭載した装置をスレーブとして接続すると、スレーブ装置で指紋認証が行えます。
  - 指紋クレデンシャル最大数 (1:N)：100,000
  - 最大指紋クレデンシャル数 (1:1)：500,000
- 製品やトラブルシューティングの詳細については、以下のリンク を参照してください。

規制認証情報

製品が準拠する規制および認証に関する情報を提供します。

FCC 準拠情報

本機器は FCC 規制 Part 15 に準拠しています。

動作は次の 2 つの条件に従います。

1. 本機器は有害な干渉を発生させません。
2. 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

情報

本機器は、FCC 規則 Part 15 に基づく Class A デジタル機器の制限に適合することがテストにより確認されています。これらの制限は、機器が商業環境で動作する際に有害な干渉から合理的な保護を提供するために設計されています。本機器は無線周波エネルギーを生成、使用、放射するため、指示に従って設置および使用しないと無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。本機器を住宅地域で使用すると有害な干渉が発生する可能性があり、その場合、干渉を解消する費用は使用者が負担しなければなりません。

適合性責任者が明示的に承認していない製品の変更または改造は、本製品を操作するユーザーの権限を無効にする場合があります。

本送信機は、他のアンテナまたは送信機と一緒に配置または運用してはいけません。

本機器は、制御されていない環境に対して規定された FCC の放射曝露制限に準拠しています。ユーザー（または付近の他の人）と本製品のアンテナとの間に少なくとも 20 cm の距離を保ってください。本機器およびそのアンテナを、他のアンテナまたは RF 送信装置と一緒に設置または運用しないでください。

詳細については、以下の連絡先までお問い合わせください。

Suprema Inc.

住所： 17F-5, Parkview Office Tower, 248, Jeongjail-ro, Seongnam-si, Gyeonggi-do, 13554, Republic of Korea

電話：+82-31-783-4502/Fax：+82-31-783-4503

付録

製品に含まれる法的通知事項を掲載しています。

免責事項

- このウェブサイトは、Suprema製品に関する情報を提供します。
- このウェブサイトは、Supremaの製品使用および販売契約に含まれるSuprema製品にのみ使用できます。このウェブサイトは、明示的、黙示的、禁反言の原則、またはその他いかなる方法によっても、知的財産権に対するライセンスを付与しません。
- お客様とSupremaとの契約に明示されている場合を除き、Supremaは一切の責任を負わず、特定目的への適合性、商品性、非侵害に関するあらゆる明示的または黙示的保証を否認します。
- 保証が無効となるのは、次の場合です。Suprema製品が 1) 誤って設置される、またはハードウェアのシリアル番号、保証情報、品質保証ステッカーが変更または除去された場合、2) Supremaが許可した方法以外で使用された場合、3) SupremaまたはSupremaが承認した以外の者によって変更、改造、修理された場合、4) 不適切な環境で運用または保守された場合。
- Suprema製品は、製品の故障が負傷や死亡事故につながる可能性のある医療、救命、生命維持などの用途向けに設計されていません。お客様がこのような用途でSuprema製品を購入または使用する場合、これに起因する負傷または死亡によって発生するすべての請求、費用、損失、支出および合理的な弁護士費用から、Supremaおよびそのメンバー、子会社、関連会社、供給業者を免責するものとします。製品の設計または製造にSupremaの過失があると主張される場合でも同様です。
- Supremaは、信頼性、機能または設計を向上させるため、予告なくいつでも仕様および製品説明を変更する権利を有します。
- 個人情報は、製品使用時に認証メッセージおよびその他の関連情報の形でSuprema製品に保存されることがあります。Supremaは、Supremaが直接制御できない、または関連契約に明示されたSuprema製品に保存される個人情報を含むいかなる情報についても責任を負いません。個人情報を含む保存された情報を使用する場合、製品ユーザーは関連法（例：GDPR）を遵守し、適切に取り扱いおよび処理する責任があります。
- お客様は、いかなる機能の欠如や特性、または"reserved"や"undefined"と表示された説明に依存してはなりません。Supremaは後日これを定義することができ、後日行われた変更が現行内容と矛盾した場合でも、Supremaは責任を負いません。
- 本サイトに明示的に記載されている場合を除き、Supremaは法律で許容される最大範囲で"現状のまま"販売されます。
- 製品を注文する前に、最寄りのSuprema営業所または代理店に問い合わせ、最新の仕様を確認してください。

著作権に関するお知らせ

本ウェブサイトの著作権は Suprema に帰属します。その他の製品名、商標、登録商標に関する権利は、それぞれの所有者である個人または団体に帰属します。

オープンソースライセンス

- 本製品のソフトウェアは Linux カーネル 3.x を改変して作成されており、Linux カーネルのライセンスは GPL に従っています。 GPL ライセンスの詳細については GNU General Public License をご覧ください。
- 本製品に含まれる glibc ライブラリは LGPL に従います。 LGPL ライセンスの詳細については GNU Lesser General Public License をご覧ください。
- 本製品に含まれる QT ライブラリは LGPL に従います。 LGPL ライセンスの詳細については GNU Lesser General Public License をご覧ください。
- 本製品に含まれる OpenSSL は OpenSSL ライセンスおよび Original SSLeay ライセンスに従います。 OpenSSL ライセンスおよび Original SSLeay ライセンスの詳細は OpenSSL License と Original SSLeay License でご確認いただけます。
- 本製品に含まれる Linux カーネル 3.x ベースで改変されたソース、glibc ライブラリ、QT ライブラリは、Suprema サポートチームへお問い合わせいただくことでダウンロードできます。

Suprema Inc.

17F Parkview Tower, 248, Jeongjail-ro, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, 13554, Rep. of KOREA

電話: +82 31 783 4502 | Fax: +82 31 783 4503 | お問い合わせ: sales_sys@supremainc.com

Supremaのグローバル支社の詳細については、
QRコードをスキャンして以下のWebページにアクセスしてください。
https://www.supremainc.com/en/about/contact-us.asp

© 2026 Suprema, Inc. 本書に記載されている Suprema および Suprema 社の製品名および番号は、Suprema, Inc. の登録商標です。Suprema 社以外のすべてのブランドおよび製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。製品の外観、ビルドステータスおよび/または仕様は、予告なく変更されることがあります。